

4 - 6 陸上昆虫類

平成11年度に実施した河川水辺の国勢調査の結果、352科109種の昆虫類が確認されました。

池田ダムより下流ではナナホシテントウ、マメコガネ、ハムシ類等のコウチュウ目、キリギリス、ツチイナゴ等のバッタ目、キンバエ、ニクバエ、ガガンボ類、ユスリカ類のハエ目等、草地を主たる生息環境とする昆虫類が多くみられます。

注目すべきものとしては、吉野川橋から河口までの区間において、河口域の砂泥質海浜に分布するルイスハンミョウが、第十堰から名田橋付近までの区間では河口の潮間帯に分布するウミホソチビゴミムシが確認されています。支川の鮎喰川では山間部の溪流に分布するムカシトンボ、アカマツ林に生息するハルゼミ、山麓や中腹部のエノキ、クヌギなどの樹林に生息するオオムラサキ、徳島県の特定昆虫類に選定されているシコクトゲオトンボが確認されています。

